- 35 - 久松久子が見つけた滑稽句 2011年3月2日

穴だらけの障子ぴたりと閉めてゐる　尾崎放哉

破れ障子をぴたりと閉めて、外から見えないと思っているところが滑稽。習慣とは恐ろしい。なんだか我が家のことを言われているようで面映い。「句にのめり破れ障子を眺めては」なのである。放哉もそうに違いない。障子貼るより俳句作るほうが楽しい。

初句会誰も採らない師匠の句　高田菲路

師は弟子達よまだまだ見る目が足りないもっと厳しく指導しなくてはと・・・。弟子は勝ち誇り、孫子の代までしゃべりまくるかも。師とは辛いもの。滑稽俳句には、裏切りが効を奏す。まさに勇気ある裏切りの句。

滑稽俳句協会ホームページ掲載の画像及び、データの無許可転載はお断りします。